

環境報告書

【第4版】地球環境を巡る変化への対応



株式
会社

ビックカメラ



今回の環境報告書の公表に当たりまして、3月11日の東日本大震災で被災された方々、また福島第一原子力発電所の事故に伴い被害を受けられた方々に心よりのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を祈念いたします。

環境省のエコ・ファースト認定第一号のビックカメラは、その前提となる「約束」の取組み内容を進化させ、本年4月21日に新たな約束の下で第一号の更新認定を実現することができました。

全社をあげての環境分野での取組みがこのように高いご評価をいただいたのは、お客様のご理解・ご協力と政府、関係機関のご指導の賜物であり、心より感謝申し上げます。

原子力発電所事故に伴う緊急の節電対策、中長期の再生可能エネルギーの導入促進など、環境先進企業として取り組むべき課題は、今後更に、その重要性を増していくものと認識しております。

今回の環境報告書では、これまでの活動に加え、新たな進化への道筋も記しました。その実現に向け、引き続きのご支援とご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2011年8月31日
株式会社ビックカメラ
代表取締役社長 宮嶋 宏幸

INDEX

1. 環境大臣認定「我が国第一号の『エコ・ファースト企業』」
2. 省エネから「緊急の節電対策」へ
3. 環境配慮型の店作りの推進
4. 循環型社会の形成に向けた3R活動
5. 業界の枠組みを超えた環境分野における企業間連携の積極的推進
6. 環境啓発活動の積極的推進

(参考資料)エコ・ファーストの約束

(参考資料)エコ・ファーストの歩み

1. 環境大臣認定「我が国第一号の『エコ・ファースト企業』」

ビックカメラは目標の達成を受け、より進化した約束を環境大臣と交わしました。



2008年4月16日エコ・ファーストの約束認定式



2011年5月31日エコ・ファーストの約束更新認定式

当社は、2008年4月16日に我が国第一号のエコ・ファースト企業として環境省の認定を受けました。今回、更なる取組みの強化を内容とする「約束」の全面的な見直しを行ない、①「先進性(トップランナー足り得る高い目標)」、②「独自性(業界の特色を生かしたオリジナルな目標)」、③「業界への波及効果(業界における取組の向上を促す)」を有するものとして2011年4月21日に「エコ・ファーストの約束」更新第1号の認定を受けました。

「エコ・ファーストの約束」の概要

1. 法定家電リサイクルの適切な実施、使用済み携帯電話のリユース、リサイクル事業をはじめとする3R*の取組みの積極的推進
(*Reduce(廃棄物の削減等)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化))
2. 業界の枠組みを越えた環境分野におけるエコ・ファースト企業間コラボレーションの積極的推進
3. 小中学生を含むお客様を対象としたビックカメラ・エコツアーの開催など環境啓発活動の積極的推進
4. 省エネ型製品の普及促進を通じてCO2排出量削減の積極的推進、家庭でできる様々な節電の積極的な啓発
5. 環境配慮型の店作りの積極的推進

*全文は巻末に掲載

2. 省エネから「緊急の節電対策」へ

ビックカメラは、東日本大震災に起因する電力供給の不足を受け、緊急の節電対策に努めています。

2-1. 節電相談カウンターを設置

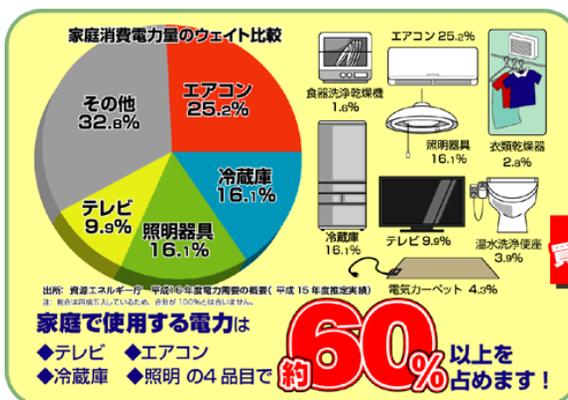
2011年4月8日から家電販売店で初めて節電相談カウンターを設置。家電アドバイザーの資格を持った専門相談員に家庭で行える様々な節電方法の紹介を行っています。



有楽町店節電相談カウンター

2-2. 節電家電へのお買い替えによる節電のご案内

当社では、家庭の節電に最も効果がある節電家電への買い替えを積極的にご案内しています。



《ご案内の一例》
最新の家電製品に買い替えるだけで、30%の節電が実現する場合がありますをご紹介します

最新モデルに買い替えなら
家庭消費電力量を

約30%削減できます!!

例えば...
月々1万円の電気代が、
約7,000円になります。

2-3. 節電グッズ・節電家電の上手な使い方のご案内

《節電相談カウンターのご案内》

節電相談カウンターでは、簡単に節電ができるグッズとして、指一本で待機電力を簡単にカットできるエコタップ、使用電力を簡単に確認できるエコワット、部屋の空気を循環させエアコンの効率を上げる扇風機など様々な商品をご紹介します。

特に、断熱性能が高くエアコンの運転効率が上がる「省エネ内窓」、電力供給に余力のある夜間に充電を行い、需給がひっ迫する昼間の時間帯に充電した電気を活用できる「家庭用大型蓄電池」にもご注目頂いています。

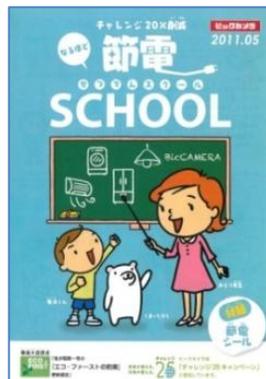
これらの節電グッズのご紹介と併せて、節電家電の上手な使い方のご案内もしています。



省エネ内窓



家庭用大型蓄電池



節電啓発冊子「節電スクール」

2004年に省エネ啓発冊子を発行し、毎年店頭にて無料配布しています。2011年5月には電力供給不足への対策として節電啓発小冊子「節電スクール」を緊急に作成、7万部を発行しました。

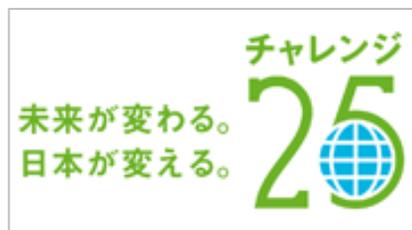
《太陽光発電》

化石燃料を使用しないため、地球温暖化の原因となるCO2を排出しない太陽光発電にも大変ご注目を頂いております。

また、万が一の停電時においても電気を使用できるのも安心です。



チャレンジ25キャンペーンへの協力



2010年1月14日首相官邸にて開催された、「チャレンジ25キャンペーン」のキックオフイベントに「我が国第一号のエコ・ファースト企業」かつ「エコ・ファースト推進協議会副議長企業」として参加。企業の代表としてCO2削減に向けた決意を表明しました。

省エネ型製品普及推進のトップランナー



当社は2003年度から2010年度まで経済産業省が実施する「省エネ型製品普及推進優良店制度」において、経済産業大臣表彰、環境大臣賞をそれぞれ2回獲得いたしました。また、22店舗が省エネ型製品普及推進優良店として認定されています。

3. 環境配慮型の店作りの推進

ビックカメラは、お客様のご理解を頂きながら環境配慮・節電型の店作りに努めています。

3-1. 環境配慮の店づくり

当社は、2008年・2009年に大規模な空調等設備更新を実施したほか、売場・事務所の照明の調整、エコ展示、エレベーター・エスカレーターの運転調整をはじめとする節電に向けた地道な努力をお客様にご理解を頂きながら継続しています。

《外壁照明のLED化》



店舗外装飾照明に、エネルギー効率が良く寿命が長いLEDを積極的に採用しています。また、店内も順次省エネ型の照明を採用しています。

《エコ展示の実施》



展示商品の一部を電源オフとし、お客様からご要望を頂いたときに通電を行っています。



《「クールビズ」、「ウォームビズ」の実施》

2008年5月から、お客様のご理解をいただき、店舗でのクールビズ・ウォームビズを実施しています。

2011年のクールビズは、電力不足への対策として5月1日に繰り上げて開始しました。

【2010年度 店舗のCO2排出量(2007年度比・原単位)】

18.90% 削減

- * 店舗1㎡当たりのCO2排出量です。
- * CO2排出量は、各店舗のエネルギー使用量に地球温暖化対策の推進に関する法律施行令で定める排出係数を乗じて算定しました。

4. 循環型社会の形成に向けた3R活動

グループ会社のソフマップ、フューチャー・エコロジーと連携し先進的な3R活動を実践しています。

4-1. リユース実績 業界最大級ソフマップとの連携

《豊富な買取メニューによるリユースの促進》

ソフマップは、豊富な買取メニューにより年間300万点を超えるリユースに取り組んでいます。特に、小売業における中古パソコンの取扱いでは我が国最大級の事業規模となっています。



スピード買取



じっくり査定高額買取

対象製品48品目について、簡単なお手続きのみで一律の金額での買い取りをご利用いただける「スピード買取」と、お客様の大切なデジタル家電をしっかりと査定させて頂き、製品の状態・付属品の有無などに応じた金額での買取をご利用いただける「じっくり査定高額買取」サービスをご用意しています。*「じっくり査定高額買取」はソフマップのみでご提供しているサービスです。

《携帯電話リユース》

平成22年6月より携帯電話の買取を開始しました。携帯電話のリユースを行う際には、ソフマップ商品化センターにおいて、携帯電話に保存された電話帳・Eメール・写真などの個人情報を専用端末により確実に消去しています。



携帯電話リユースのためのデータ消去作業

他社とは違うソフマップクオリティ

パソコン、周辺機器、ゲームソフトなど、買い取った後に再商品化が必要な商品は、ソフマップ管理下にある商品化センターに集約され、技能訓練を受けた専門スタッフによってデータ消去、クリーニング、付属品の確認、再セットアップなど最大68工程もの品質チェックを行って販売しております。再販売に適さないと判断した商品につきましては、個人情報保護契約を結んだ専門処理業者に業務委託し、安全に処理を行い、新たな製品の原料として利用されています。

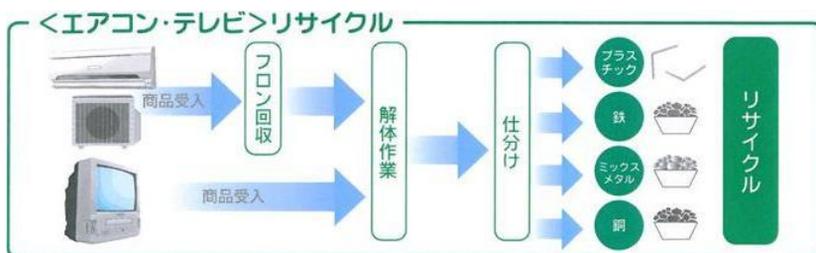
4-2.フューチャー・エコロジーとの連携によるリサイクル活動

《家電リサイクル券取扱優良店》

家電リサイクルを適正に実施し、一定の運用実績を達成していることが評価され(財)家電製品協会より、対象となる1年以上の取り扱い実績のある30店舗(商品センター2拠点を含む。)のすべてが「家電リサイクル券取扱優良店」として認定されています。



家電リサイクル券取扱
優良店ラベル



家電リサイクルに関するご案内POPの一例

《業界初！法定家電リサイクル》



フューチャー・エコロジーはビックカメラグループの総合環境ソリューション企業として、2005年2月から大田区城南島の東京事業所において家電販売業界初で唯一の法定家電リサイクル事業を展開しています。

《業界初！小型家電リサイクル》

2011年6月よりスピード買取の対象製品についてリユースできない製品を10円で買い取り、小型家電リサイクルを実施。レアメタルの確保に貢献しています。

2010年3月鳩山由紀夫内閣総理大臣(当時)がフューチャー・エコロジーをご視察



《携帯電話リサイクル》

お客様の大切な個人情報の保護に十分配慮しながら使用済み携帯電話の回収を行っています。回収された使用済み携帯電話は「ビックカメラ携帯リサイクルセンター」にて素材ごとに分別・再資源化。我が国の重要政策課題となるレアメタルの回収に貢献しています。また、店頭だけでなく、プロ野球チーム、サッカーチームと連携しての携帯電話回収キャンペーンも実施しています。



携帯電話リサイクルご案内POP



野球場・サッカースタジアムでの携帯電話回収活動



【使用済み携帯電話回収実績】

携帯電話 **67,904台** 回収

* 携帯電話の回収を開始した2008年8月から2011年3月までの実績

4-3. その他の3R活動

《容器包装の削減》



無漂白の再生紙袋

紙資源の節約及びリサイクルの促進のため紙製買物袋を、順次光沢のない無漂白の薄肉再生紙へ転換。また、プラスチック製レジ袋についても薄肉化とサイズ調整を行い、容器包装の削減に努めています。

【2010年度 容器包装削減実績(2007年度比)】

紙製買物袋

プラスチック製レジ袋

31%削減達成

41%削減達成

《小形充電式電池リサイクルパワーアップキャンペーン2010》



JBRCより授与された感謝状

一般社団法人JBRCが主催する「小形充電式電池リサイクルパワーアップキャンペーン」に参加。全国で2,711kgの小形充電電池を回収し、レアメタルの確保に貢献しました。同キャンペーンにおける都道府県別回収量で、有楽町店が東京都第一位、ラゾーナ川崎店が神奈川県第一位を獲得しました。

5. 業界の枠組みを越えた環境分野における企業間連携の推進

ビックカメラは、環境分野における企業間
コラボレーションを積極的に推進しています。

5-1. エコ・プライベートブランド商品の共同開発・普及促進

ビックカメラ × NECパーソナルプロダクツ 《環境配慮型ノートパソコン》



NEC LaVie L LL750(A)S1
-BR (スパーキングダッシュレッド) -BW (スパーキングダッシュホワイト) -BP (スパーキングダッシュピンク) -BB (スパーキングダッシュブラック)



NEC VALUESTAR N VN770(A)S1
-BB (ファインブラック) -BR (クランベリーレッド) -BW (パールホワイト)

容器包装の簡易化、マニュアルの電子化による省資源化、出荷時のエコモード設定が主な特徴です。

ビックカメラ × ダイキン 《環境配慮型加湿機能付き空気清浄機》



ダイキン 「MCK75LBB W (白) T (ブラウン)」

容器包装の簡易化、一段進んだ省エネ運転を行うエコ風量モードの搭載が主な特徴です。

5-2. 業界の枠組みを越えた企業間コラボレーション

ビックカメラ × 三菱自動車 《「電気自動車の普及推進に関する基本協定」締結》



走行中のCO2排出がゼロ、夜間電力の活用で電力供給の安定にも貢献できる電気自動車「i-MiEV」を積極的にご案内しています。

【i-MiEV紹介店】

ラゾーナ川崎店、有楽町店、池袋本店、新宿西口店
*ラゾーナ川崎店では、試乗会等のイベントを随時開催しています。

ビックカメラ × 積水ハウス 《「積水ハウスリフォームコーナー」開設》



新宿西口店に「積水ハウスリフォームコーナー」を開設。お客様のライフスタイルに応じた住宅リフォームを、専門のスタッフがご提案いたします。

【取扱内容】

- ・ 太陽光発電
- ・ オール電化
- ・ 省エネ内窓、窓サッシ工事
- ・ リフォーム

6. 環境啓発活動の推進

ビックカメラは、小中学生を含むお客様に積極的に環境啓発活動を行っています。

6-1. 小中学生に向けた環境啓発活動

《ビックカメラ・エコツアー》

2011年8月20日に小中学生を対象にビックカメラ・エコツアーを開催。法定家電リサイクル工場でのテレビ・エアコンの迫力の解体現場の見学、節電・省エネ学習を行いご好評を頂きました。



法定家電リサイクル工場見学の様子



携帯電話の解体をモニターに投影して解説

《エコとわざコンクールへの参加》

エコ・ファースト推進協議会*が主催する全国小中学生対象「生き物にかかわるエコとわざコンクール」(後援:環境省)に参加。応募総数484点からビックカメラ賞に池下生央菜さん(浜松市立西小学校4年生(当時))の作品が選ばれました。(*平成21年12月エコ・ファースト企業23社により設立。ビックカメラは副議長企業として協議会をリードしています。)

ビックカメラ賞

「せみのこえ あつめてでんき つくれそう」

浜松市立西小学校4年生

池下 生央菜さん



2010年10月30日エコとわざコンクール表彰式の様子





エコ・ファーストの約束

平成23年4月21日

環境大臣 松本 龍 殿

株式会社ビックカメラ
代表取締役社長

宮 嶋 宏 幸

株式会社ビックカメラは、環境問題への取組みが人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、下記の環境保全活動に自主的かつ積極的に取り組んでまいります。

1. 循環型社会の形成に向けた取組みを積極的に推進します。

- 紙製買物袋及びプラスチック製レジ袋について、薄肉化及び商品に合わせた細かいサイズ調整を徹底し、容器包装の削減を推進します。
- グループ会社と連携し、新たに携帯電話の国内におけるリユースを開始するとともに、パソコン、AV機器等のリユースについて、「定額下取り」等の各種の施策を講じ、一層の推進に努めます。
- お客様に家電リサイクルの仕組みと環境改善、資源有効利用上の効果を積極的に情報提供することにより、家電リサイクルの積極的な推進に一層努力します。また、グループ会社と連携し使用済みエアコンの引き取り時における確実なフロン回収の推進に努めます。
- 家電リサイクル券の適正な管理を徹底し、財団法人家電製品協会の「家電リサイクル券取扱優良店」認定につき申請資格を有する全拠点において取得します。また、グループ会社における法定家電リサイクル事業を着実に進めます。
- 全店舗において引続き使用済み携帯電話の回収を実施すると共に、グループ会社における携帯電話リサイクルの台数を2015年度までに2007年度比で50%以上増加させます。

2. 業界の枠組みを越えた環境分野における企業間の連携を積極的に推進します。

- 環境配慮型のパソコン、空気清浄器、充電機などの「エコPB商品」の共同開発及び普及をメーカーと協力して推進します。
- 業界で初めての「省エネ内窓の普及推進に関する基本協定」による住宅設備メーカーとの連携をはじめ、太陽光発電、エコキュートなどの省エネ型住宅設備の普及を推進します。
- これからの低炭素社会実現の重要な担い手である電気自動車の普及をメーカーと協力して推進します。
- 我が国第一号のエコ・ファースト企業として、エコ・ファースト企業間の連携をリードするため2015年度までに5件以上の「エコ・ファースト企業コラボレーション」を実施します。

3. チャレンジ25キャンペーンへの協力などの啓発活動を積極的に推進します。

- チャレンジ25キャンペーンのチャレンジャー企業として、自らの実践の徹底とお客様への啓発活動に努めます。
- 東京スーパーエコタウン内に環境活動を展示する「ビックカメラ・エコサロン」を設置し、お客様への啓発活動及び環境教育に活用します。
- 上記の取組みの一環として、小中学生を含むお客様を対象に「ビックカメラ・エコツアー」を毎年実施し、「ビックカメラ・エコサロン」でのレクチャー及びグループ会社のリユース・リサイクル施設の見学会などを行います。

4. 省エネ型製品の普及促進を通じてCO2排出量削減を積極的に推進します。

- 国内の温室効果ガスの排出量を2020年までに1990年比で25%削減する国の目標に、家電販売店として量的に最も貢献できる省エネ型家電製品の普及を推進します。
- ご購入いただいた製品の省エネ性能が十分に発揮されるように製品の上手な使い方を店内ポスター・小冊子等を用いて情報発信し、お客様への啓発に努めます。
- 一般の電力不足に販売店として最大限の対応を行うため、家庭でできる様々な節電を積極的にお客様にお勧めします。

5. 環境配慮型の店作りを推進します。

- 省エネ型照明の導入、空調の更新などの計画的な設備の省エネ化、社員の省エネ意識とその実践の徹底を行うとともに、今後とも公共交通機関の利用が便利な場所への出店を進めます。
- 「クールビズ」・「ウォームビズ」の積極的な実践はもとより、「エコ展示(展示商品の通電削減)」等の独自の取組みを通じて、お客様のご理解を得ながら店舗の省エネを推進します。
- これらの努力を通じて店舗のCO2排出量を原単位(店舗面積)で2015年度までに2007年度比で17%削減します。

株式会社ビックカメラは、上記取組みの推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及び環境報告書による公表を行ってまいります。

制定:平成20年4月16日
更新:平成23年4月21日

ビックカメラ

エコ・ファーストの歩み

- 2001年12月 ビックカメラグループの総合環境ソリューション企業として株式会社フューチャー・エコロジー(FE社)設立
- 2004年1月 第1回省エネルギー型製品普及優良店表彰でビックカメラ有楽町店が第1位のほか、2位、3位、7位、9位を獲得、申請12店舗全店優良店認定
- 2005年1月 2004年度省エネルギー型製品普及優良店表彰でビックカメラ立川店が経済産業大臣賞、ビックカメラ新横浜店が資源エネルギー庁長官賞を受賞申請14店舗全店優良店認定
- 2005年2月 FE社東京事業所が家電リサイクル法に基づき環境省、経済産業省から認定受領、テレビ及びエアコンの法定リサイクル事業開始
- 2005年4月 FE社東京事業所が使用済み携帯電話端末のリサイクル開始
- 2006年1月 2005年度省エネルギー型製品普及優良店表彰でビックカメラ札幌店が経済産業大臣賞を受賞、申請18店舗全店優良店認定
- 2006年2月 株式会社ソフマップを子会社化、OA機器のリユースを強化
- 2007年1月 2006年度省エネルギー型製品普及優良店表彰でビックカメラ名古屋駅西店が環境大臣賞を受賞、申請18店舗全店優良店認定
- 2007年7月 全国の企業のトップを切って「1人1日1kgCO₂削減キャンペーン」に協賛実施
- 2007年10月 業界初の「環境報告書 2007.10.25」を公表。業界初のCO₂削減目標を設定
- 2007年11月 鴨下一郎環境大臣がFE社事業所をご視察
- 2008年2月 高橋はるみ北海道知事にビックカメラ代表取締役社長宮嶋宏幸が北海道洞爺湖サミット目録を手交、以降、各般の支援活動を展開
- 2008年4月 環境省が創設したエコ・ファースト制度第1号として鴨下一郎環境大臣にビックカメラ代表取締役社長宮嶋宏幸が「エコ・ファーストの約束」を行う

エコ・ファーストの歩み

- 2008年8月 エコ・ファーストで約束した使用済み携帯電話の回収開始
- 齊藤鉄夫環境大臣がFE社事業所をご視察
- 2009年3月 2008年度省エネ型製品普及推進優良店制度にてビックカメラ新横浜店が経済産業大臣賞を受賞 申請21店舗全店優良店認定
- 2009年12月 エコ・ファースト推進協議会設立 ビックカメラ代表取締役社長 宮嶋宏幸が副議長に就任
- 2010年1月 ビックカメラ × YKK AP 「省エネ内窓の普及推進に関する基本協定」締結
- 2010年3月 鳩山由紀夫内閣総理大臣がフューチャー・エコロジー東京事業所をご視察
- JBRC主催「小型充電式電池リサイクルパワーアップキャンペーン2009」新宿西口店、藤沢店、柏店、岡山駅前店が都道府県別回収量で第1位を獲得
- 2010年6月 ソフマップが携帯電話の買取を開始
- 2010年10月 エコ・ファースト推進協議会「エコとわざコンクール表彰式」in メッセナゴヤ
- 2010年11月 ビックカメラ×積水ハウス ビックカメラ新宿西口店「積水ハウスリフォームコーナー」開設
- ビックカメラ×三菱自動車 ビックカメラ有楽町店にて「電気自動車の普及推進に関する協定」を締結
- 2011年3月 JBRC主催「小型充電式電池リサイクルパワーアップキャンペーン2010」東京都第1位 有楽町店本館、神奈川県第1位 ラゾーナ川崎店
- 2011年4月 **我が国第一号の『エコ・ファーストの約束』更新認定**
- 2011年6月 家電販売業界初のレアメタル確保に向けた『小型家電リサイクル』を開始
- 2011年8月 ビックカメラ エコツアー リサイクル工場見学を開催

編集後記 —「エコ・ファーストの約束」更新を終えて—

今回の報告書の策定に当たって、我が国を襲った東日本大震災そして福島第一原子力発電所の事故は大きな影響が有りました。2025年までにCO2を25%削減する「チャレンジ25」キャンペーンに全社を上げて取り組んでいましたが、計画停電による混乱、これを避けるための15%の節電と省エネに関する緊急度は一気に切迫しました。

ビックカメラも店舗に節電相談カウンターを設け、お客様の節電のお手伝いをさせていただいていますが、お客様の意識は極めて高く、現在そして近未来に向けて、節電に向けてライフスタイル自体が大きく変わっていく、そのようなうねりを感じています。また、リサイクルの分野でもこれまでの家電製品、携帯電話に加え小型電子機器のリサイクルが議論され、新興国の経済発展の中で希少な資源をどう確保して行くかも大きな課題となっています。

新たに更新された「エコ・ファーストの約束」ではこれらの環境問題への対応が数多く盛り込まれています。この約束を実現して行くためには、お客様のご理解とご支援が何よりも重要と考えております。

本報告書はビックカメラの環境問題への取組みを皆様に知っていただくために若手の社員が中心に「読んでみよう」と思っていた内容を目指しました。皆様からの忌憚の無いご注文、ご意見をお待ちしております。

2011年8月31日
取締役CSRO
加藤 周二